【別添１】

スポーツ文化ツーリズムアワード2019

【スポーツ文化ツーリズム賞】入賞

（申請団体）

日光トレイルランニング実行委員会

日光国立公園マウンテンランニング大会

取組概要

2015年の台風18号の被害を受けた日光・鬼怒川に元気を取り戻したいと願う地元の若者によって立ち上げたトレイルランニングの大会。
行政からの支援を受けず、国やスポーツ関連団体からの補助金にも頼らない完全自主運営で実施。
大会の一番の魅力は「世界遺産や国立公園内を走れる」ことであり、世界に誇る日光の二社一寺を大会会場に、日光の大自然に触れながら駆け抜けるコースはトレイルランニング業界でも注目を集めている。

評価ポイント

- 日光の世界遺産や国立公園内を駆け抜け、歴史文化と大自然の両方を満喫できる稀有なスポーツイベント。
- 文化資源と大自然の組合せはインバウンドの訴求力も高く、全国のモデルとなり得る。また、エコツーリズムとしても期待。
- 集客力も高く、開催による経済効果も大きく、地域活性化に大きく貢献。

スポーツ文化ツーリズムアワード2019

【スポーツ文化ツーリズム賞】入賞

（申請団体）

剣道体験ツアー SAMURAI TRIP（運営：株式会社パークフォーアス）

剣道体験ツアー【SAMURAI TRIP】

取組概要

外国人旅行客を中心に、剣道体験ツアーを催行。

ツアーには「剣道体験」を中心に3アクティビティ（1.剣道体験、2.剣道具製作工房の見学、3.剣道レストランでの和食体験）を用意し、剣道の紹介だけではなく、歴史や文化、さらには伝統ある剣道具の魅力を伝える。

剣道体験では、剣道歴20年以上の講師陣が基本から丁寧に指導している。

評価ポイント

- 日本の伝統文化である剣道を切り口に、訪日外国人との交流を促進。
- 道具の製作工房見学や和食体験など、伝統文化も含めたプログラム。
- 全国展開できる事業性に期待。

スポーツ文化ツーリズムアワード2019
【スポーツツーリズム賞】入賞

（申請団体）
小出雪まつり実行委員会

魚沼国際雪合戦大会

取組概要

小出商工会青年部が主体となって企画し、小出雪まつり実行委員会や市民の協力を得て、地域の活性化を目指し「雪合戦発祥の地」を掲げ、これまで31回開催。
チームの大将は、豪雪地域特有の道具「かんじき」を履き、「山笠」を被り、「こしき」を持つのが特徴。
魚沼産コシヒカリや地元の温泉宿泊券など魚沼ならではの景品を用意し、会場内では、特産品の魚沼産コシヒカリを無料で食べられるコーナーや、名物の「生もつ焼き」や「けんちん汁」などを振る舞い、地域一体となってイベントを盛り上げている。

評価ポイント

- 雪を地域の文化資源として活用し、温かみのある地域のもてなしを行っている。
- 雪に親しむことを入り口に、スキーなどの他のスポーツに繋がることを期待。
- ルールが分かりやすく理屈抜きで楽しめ、インバウンド訴求力が高い。

スポーツ文化ツーリズムアワード2019
【スポーツツーリズム賞】入賞

（申請団体）
白山ジオトレイル実行委員会

白　山　ジ　オ　ト　レ　イ　ル

取組概要

全ての食料を背負い7日間で約250㎞を走破するステージ制アドベンチャーマラソンイベント。
平成26年より実施し、本年で６回目。
健康増進と地域活性化を目的とし、白山比咩神社をスタートし、白山七社などの神社仏閣と白山手取川ジオパークのジオサイトの観光名所を巡り、加賀禅定道などの修験道で霊峰白山へ登拝し、白山比咩神社へ戻るコース。
表彰パーティーで白山麓の熊や猪などのジビエ料理や郷土料理を振る舞う。

評価ポイント

- 単なるスポーツではなく、文化・自然を含めた精神性の高い取組。
- 白山の信仰文化や伝統芸能を組み合わせたユニークなプログラム構成。
- アドベンチャーツーリズムの観点で難易度の高いコースであるが、世界的な大会となる高いポテンシャルがある。

スポーツ文化ツーリズムアワード2019
【文化ツーリズム賞】入賞

（申請団体）
「忍びの里　伊賀」創生プロジェクト会議

忍びの里「伊賀」ならではの本物の忍びの「心技体」を体現できる体験プログラムづくり

取組概要

伊賀の山里を駆け抜ける忍者の本物体験（忍者トレイルランニング事業）と伊賀の山里で暮らす忍者の本物体験（滞在型プログラム事業）による「忍びの正心である“心技体”を鍛える」をテーマとした体験プログラムを展開。
体験プログラムでは、農泊に田植え、稲刈りをはじめ、かかし看板づくり、しめ縄づくりが体験でき、伊賀焼の窯元散策、間伐作業の里山整備と木工教室などの農業体験・文化体験に忍者修行の要素を加え、「伊賀忍道」という伊賀オリジナルの宿泊体験プログラムとして提供している。

評価ポイント

- 日本遺産を中心エリアに、伊賀の伝統歴史を十分に組み込んだプログラム。
- 外国人の関心の高い、世界に通じるコンテンツとして期待。
- ヨガや忍道等を実践する「伊賀忍道」など、今後のさらなる展開が見込まれる。

スポーツ文化ツーリズムアワード2019
【文化ツーリズム賞】入賞

（申請団体）
一般社団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構

「めぐる、たべる、つかる」
ONSEN・ガストロノミーツーリズムで地域を元気に！

取組概要

日本が誇る観光資源、温泉とその土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史等によって育まれた食を組み合わせた「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」、その実践としてウォーキングイベントを全国各地で開催。
温泉地に設定されたコース上の自然や歴史・文化、街並みを自分のペースで巡り、ポイント毎にその地域の食事やお酒を主に１品ずつ食べ、ゴール後に温泉に浸かることができる。
「めぐる、たべる、つかる」をテーマに温泉地の魅力向上と地域活性化を目指す取り組みとして、平成26年より実施。

評価ポイント

- 温泉の楽しみ方にウォーキングを掛け合わせ、地域の文化資源の魅力を発信。
- 今後、常時参加可能なコース設定がなされ、一層の発展が見込まれる。
- 地域の文化資源を一度に巡る体験として、他地域への横展開に期待。